

1

日新電機株式会社

| | 各社の考え方 |
|--------------|---|
| ① 算定を行う背景・目的 | <ul style="list-style-type: none"> ● 当社は電力機器など社会インフラに係る製品・システムを提供しており、製品のライフサイクルが比較的長いこと、サプライチェーンにおける環境影響が大きいと考えられる。サプライチェーン全体の排出量を定量的に把握し、俯瞰することは、サプライチェーンの環境負荷を削減する上で、有効な方法の一つであると思われる。 |
| ② 算定結果の活用方法 | <ul style="list-style-type: none"> ● サプライチェーンにおける環境負荷を把握することにより、当社が優先的に注力すべき対象を明確化し、今後の活動の根拠としたい。 ● 当社NISSIN REPORTやWEB上等で、投資家様などのステークホルダーに情報提供を行いたい。 |
| ③ 算定のメリット | <ul style="list-style-type: none"> ● サプライチェーン全体の環境負荷を俯瞰することにより、当社が及ぼしている環境影響の大きい分野を把握し、今後優先的に活動すべき環境負荷削減活動の明確化につながる。 ● 当社の環境負荷削減活動の方向性を、ステークホルダーに示すことにより、当社製品を開発するなどに際して、CO2を削減する技術・サービスの呼び込みにつながる。 |
| ④ 社内の算定体制 | <ul style="list-style-type: none"> ● 環境管理部門にて、各部門からデータを収集し、集計している。 ● 海外グループ企業データは、国内所管部門（日本のサポート先）を通じて収集している。 ● 2018年度のデータについて外部審査機関による第三者保証を受けた。 ● SBT目標と2025年SCOPE1+2及びSCOPE3の目標を設定し取り組みを進めている。 |

2

日新電機株式会社

| | 各社の考え方 |
|-----------------------------|---|
| <p>⑤ サプライチェーン排出量の削減に向けて</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 当社のサプライチェーン全体におけるCO2排出量を俯瞰すると、カテゴリ11（販売した製品の使用）が占める割合が最も大きいいため、本カテゴリを中心に削減活動に取り組むことが重要と思われる。 ● 次いで、カテゴリ1（購入した製品・サービス）の割合が大きいいため、本カテゴリも削減活動の対象とすることが重要と考えられる。 ● カテゴリ11（販売した製品の使用）およびカテゴリ1（購入した製品・サービス）に関しては、既に、中長期目標を掲げ、CO2排出量の削減を推進している。 ● さらに、環境配慮製品認定制度により、エコ製品の開発と普及に力を入れている。 ● 今後、上記取組みをグローバル展開し、更なる高効率製品（変圧器等）の開発と普及、製品のコンパクト化、SF6排出抑制、次世代の受変電システム「スマート電力供給システム（SPSS）」の普及等に取り組む、サプライチェーン全体を通じた環境負荷削減を推進する。 ● SBT目標を設定し、2021年6月にSBTイニシアチブの認定を取得した。 |
| <p>⑥ サプライチェーン排出量算定の課題</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● SBT（Science Based Targets）に基づく中長期目標を設定し、サプライチェーン排出量の削減に取り組んでいる。 |

3

日新電機株式会社

| カテゴリ | 算定方法 | ※算定対象期間：2020年4月～2021年3月 |
|----------------------------------|-------------------------------|--|
| | 活動量 | 原単位 |
| カテゴリ1「購入した製品・サービス」 | ● 購入部材の重量（機器）、購入金額（部品・サービス事業） | ● 環境省原単位DB、環境省・経済産業省「算定・報告・公表制度」、自社開発原単位 |
| カテゴリ2「資本財」 | ● 資本財の購入金額 | ● 環境省原単位DB |
| カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」 | ● エネルギー使用量 | ● 環境省原単位DB、CFP-DB |
| カテゴリ4「輸送、配送（上流）」 | ● 購入部材の重量（機器） | ● 環境省原単位DB |
| カテゴリ5「事業から出る廃棄物」 | ● 廃棄物の種類別排出量 | ● 環境省原単位DB |
| カテゴリ6「出張」 | ● 従業員数 | ● 環境省原単位DB |
| カテゴリ7「雇用者の通勤」 | ● 従業員数、営業日数 | ● 環境省原単位DB |
| カテゴリ8「リース資産（上流）」 | ● Scope1,2に含んでいるため除外 | — |
| カテゴリ9「輸送、配送（下流）」 | ● 該当なし | — |
| カテゴリ10「販売した製品の加工」 | ● 該当なし | — |
| カテゴリ11「販売した製品の使用」 | ● 稼働率等の運用条件を設定し概算 | ● 環境省・経済産業省「算定・報告・公表制度」 |
| カテゴリ12「販売した製品の廃棄」 | ● 購入部材の重量 | ● CFP-DB |
| カテゴリ13「リース資産（下流）」 | ● 該当なし | — |
| カテゴリ14「フランチャイズ」 | ● 該当なし | — |
| カテゴリ15「投資」 | ● 該当なし | — |
| 「その他」 | ● オプションのため算定範囲から除外 | — |

4

日新電機株式会社

サプライチェーン排出量算定結果

サプライチェーン全体でのCO2排出実績 1,408千t-CO2
(2020年度、国内グループ+海外グループ)

